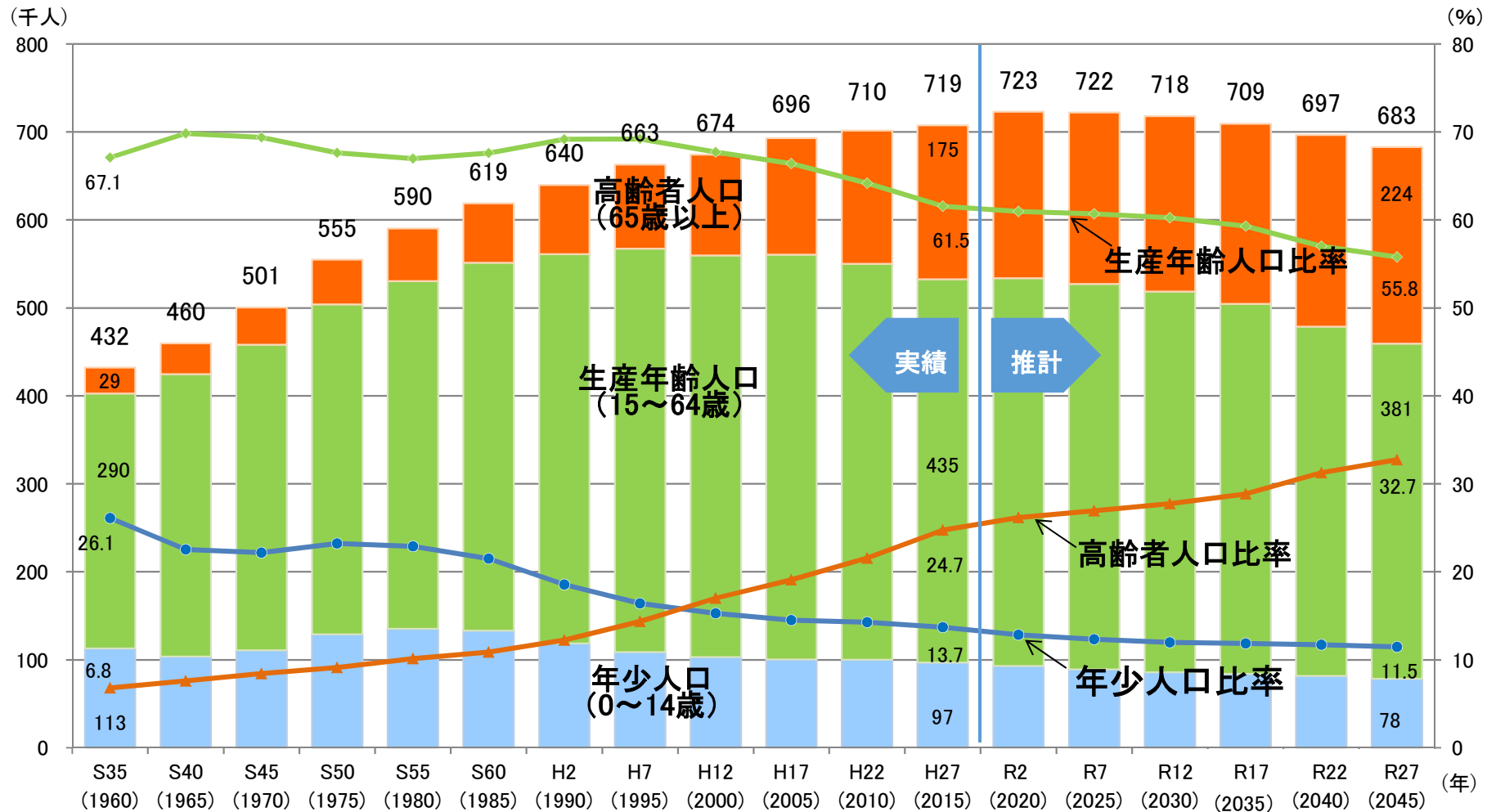


岡山市の人口の現状と将来の見通し

将来人口と人口構成比の見通し

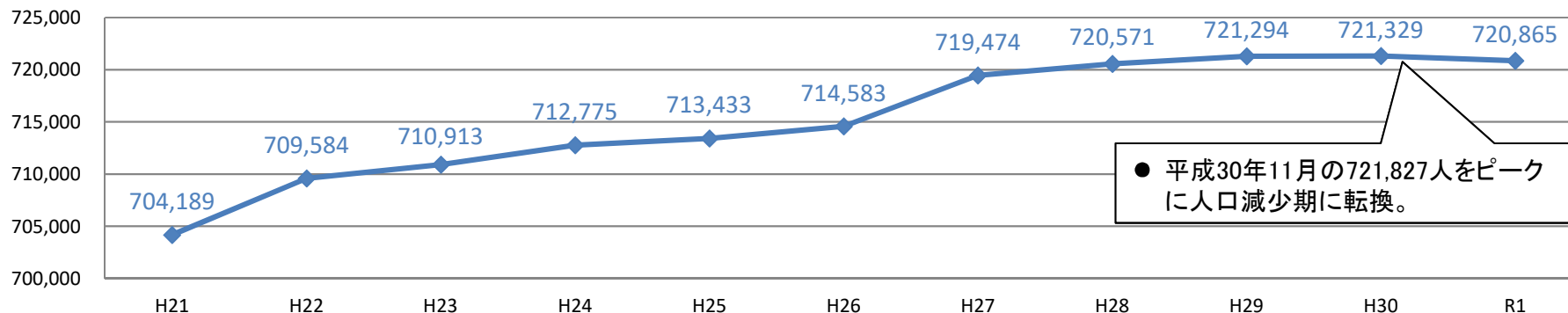
- 岡山市第六次総合計画「前期中期計画」の策定時(平成29年2月)に作成した「岡山市将来人口推計」では、令和2年(2020年)をピークに人口減少期に突入する見通し。
- 年少人口(0~14歳)及び生産年齢人口(15~64歳)は減少していく一方で、高齢者人口は当面増加していく。



(注)人口等は現在市域。人口総数には年齢「不詳」を含む。ただし、人口比率は年齢「不詳」を除いて算出。
 (資料)総務省「国勢調査」(実績値)、岡山市推計結果(推計値)

(平成29年2月作成)

岡山市の人口と人口動態



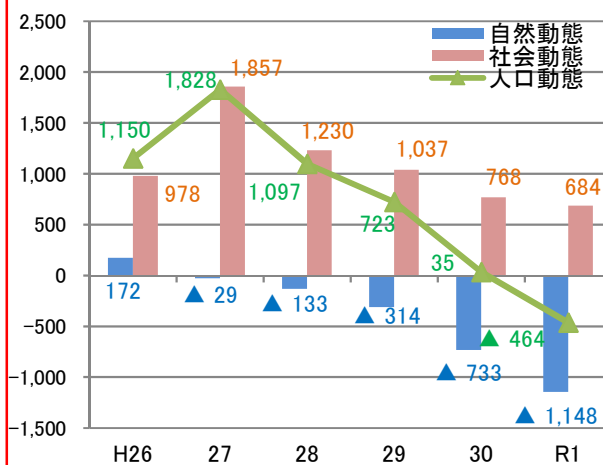
● 平成30年11月の721,827人をピークに人口減少期に転換。

(資料)岡山県毎月流動人口調査結果から作成

※各年の数値は10月1日時点

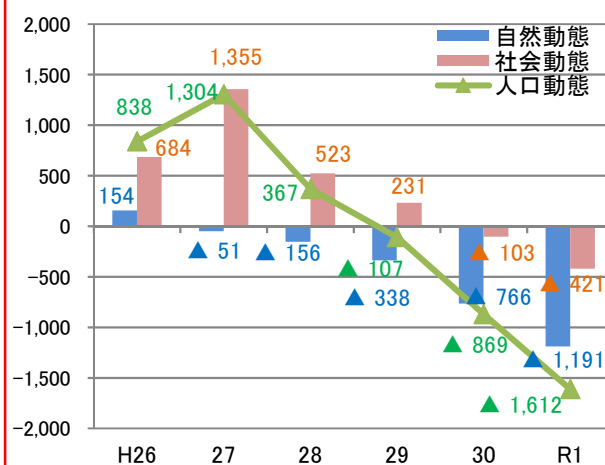
岡山市の推移

- 自然動態はH27にマイナスに転じ、年々減少が加速している。
- 社会動態はプラスだが、H27をピークに減少傾向にある。



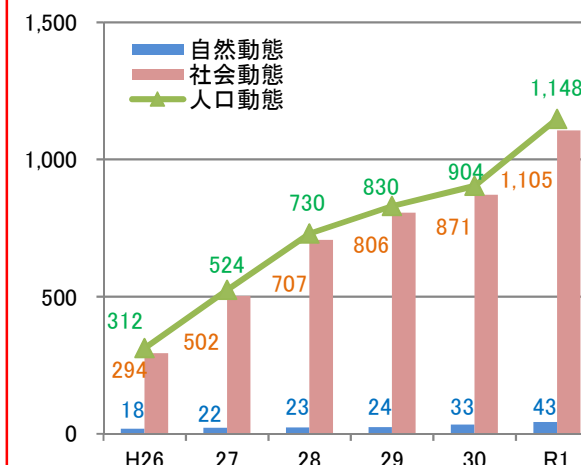
日本人の推移

- 自然動態はH27にマイナスに転じ、年々減少が加速している。
- 社会動態はH30にマイナスに転じ、減少傾向にある。



外国人の推移

- 社会動態について、H26以降年々増加傾向にある。



※各年の数値は前年10月から同年9月までの値

日本人の自然減・社会減を、外国人の社会増で補うことができなくなっており、R1は人口動態がマイナス。

指定都市別人口動態の推移

- 平成30年の人口動態では、20指定都市のうち8都市の人口がすでに減少している。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
札幌市	7,762	5,520	5,816	5,662	4,854	3,109
仙台市	6,892	3,931	2,994	2,014	2,028	2,040
さいたま市	8,698	7,297	9,597	10,938	10,602	10,240
千葉市	632	2,325	2,048	1,183	2,225	2,217
横浜市	5,562	8,050	7,107	6,486	2,002	7,951
川崎市	10,434	11,719	14,284	14,399	13,864	12,429
相模原市	1,044	1,794	1,498	338	1,211	175
新潟市	▲ 1,453	▲ 2,112	▲ 1,477	▲ 2,824	▲ 3,339	▲ 3,905
静岡市	▲ 2,709	▲ 3,022	▲ 3,568	▲ 3,143	▲ 2,754	▲ 3,892
浜松市	▲ 3,328	▲ 1,969	▲ 1,290	▲ 1,134	▲ 880	▲ 2,233
名古屋市	4,063	5,549	9,004	9,750	9,046	6,122
京都市	▲ 2,222	▲ 1,245	75	▲ 1,209	▲ 2,565	▲ 3,205
大阪市	3,311	2,936	10,789	9,870	11,007	12,052
堺市	▲ 1,527	▲ 1,388	▲ 1,759	▲ 1,930	▲ 3,408	▲ 2,849
神戸市	▲ 1,276	▲ 2,958	▲ 2,981	▲ 1,595	▲ 3,320	▲ 4,910
岡山市	898	1,455	1,588	1,037	536	53
広島市	2,411	1,470	2,632	2,827	1,470	811
北九州市	▲ 3,543	▲ 4,966	▲ 5,317	▲ 4,980	▲ 5,604	▲ 5,089
福岡市	14,456	11,988	14,641	13,969	14,116	11,883
熊本市	835	630	317	▲ 1,390	473	▲ 212
(参考)東京23区	64,767	86,256	103,114	97,250	93,635	90,021

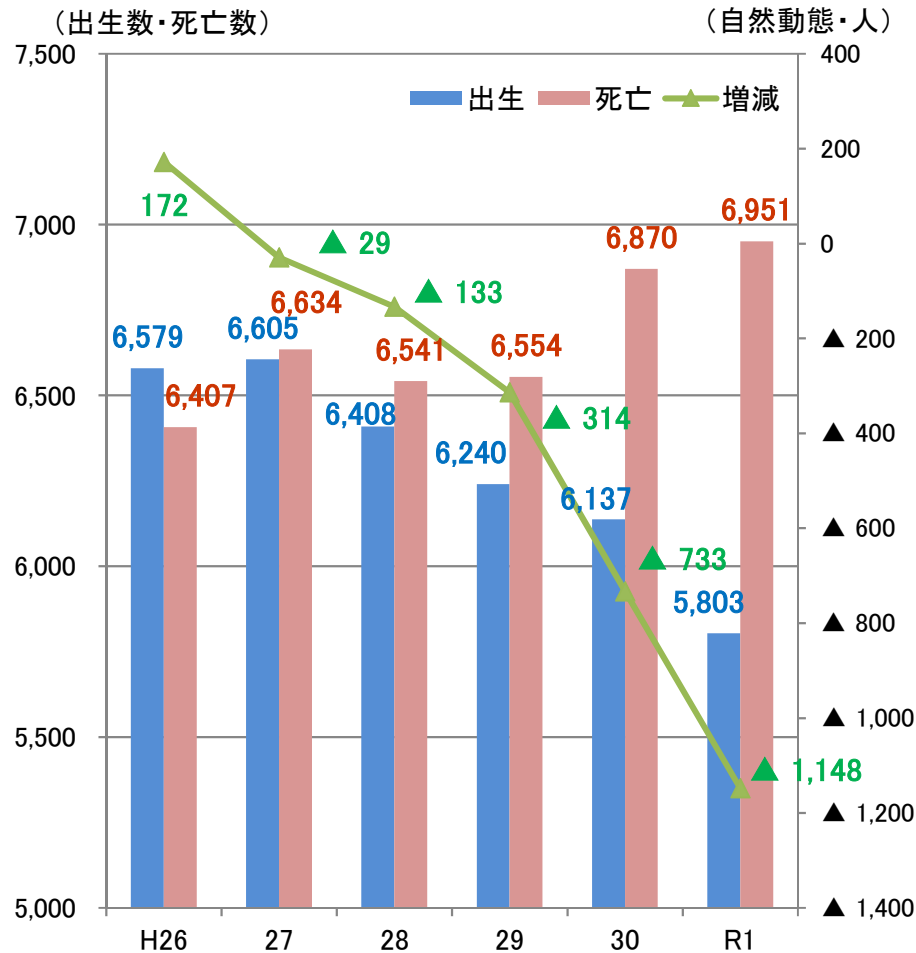
※各数値は各年1月1日から12月31日までの値

(資料)「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」(総務省)

自然動態・社会動態の推移

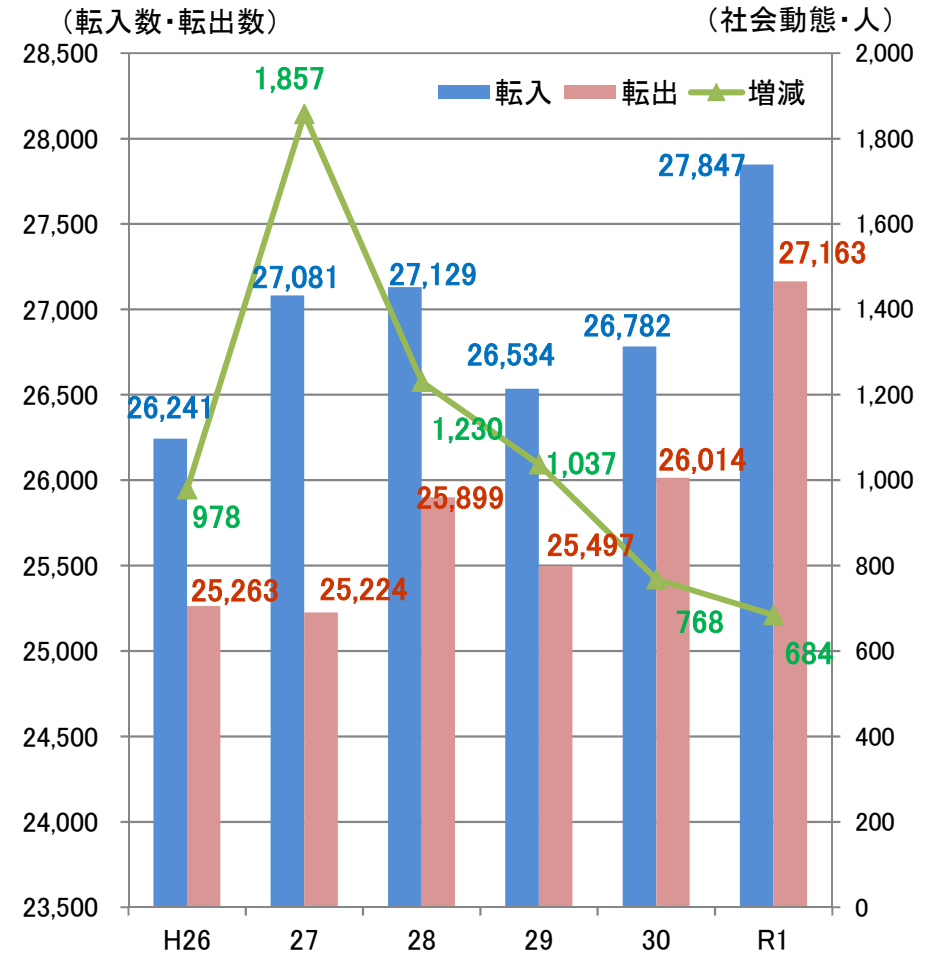
- 自然動態は、出生数が減少傾向である一方、死亡数は増加傾向にあり、自然減が加速度的に進展。
- 社会動態は、外国人の増加により、全体としてはプラスを維持しているものの、減少傾向にある。

自然動態の推移



※各年の数値は前年10月から同年9月までの値

社会動態の推移

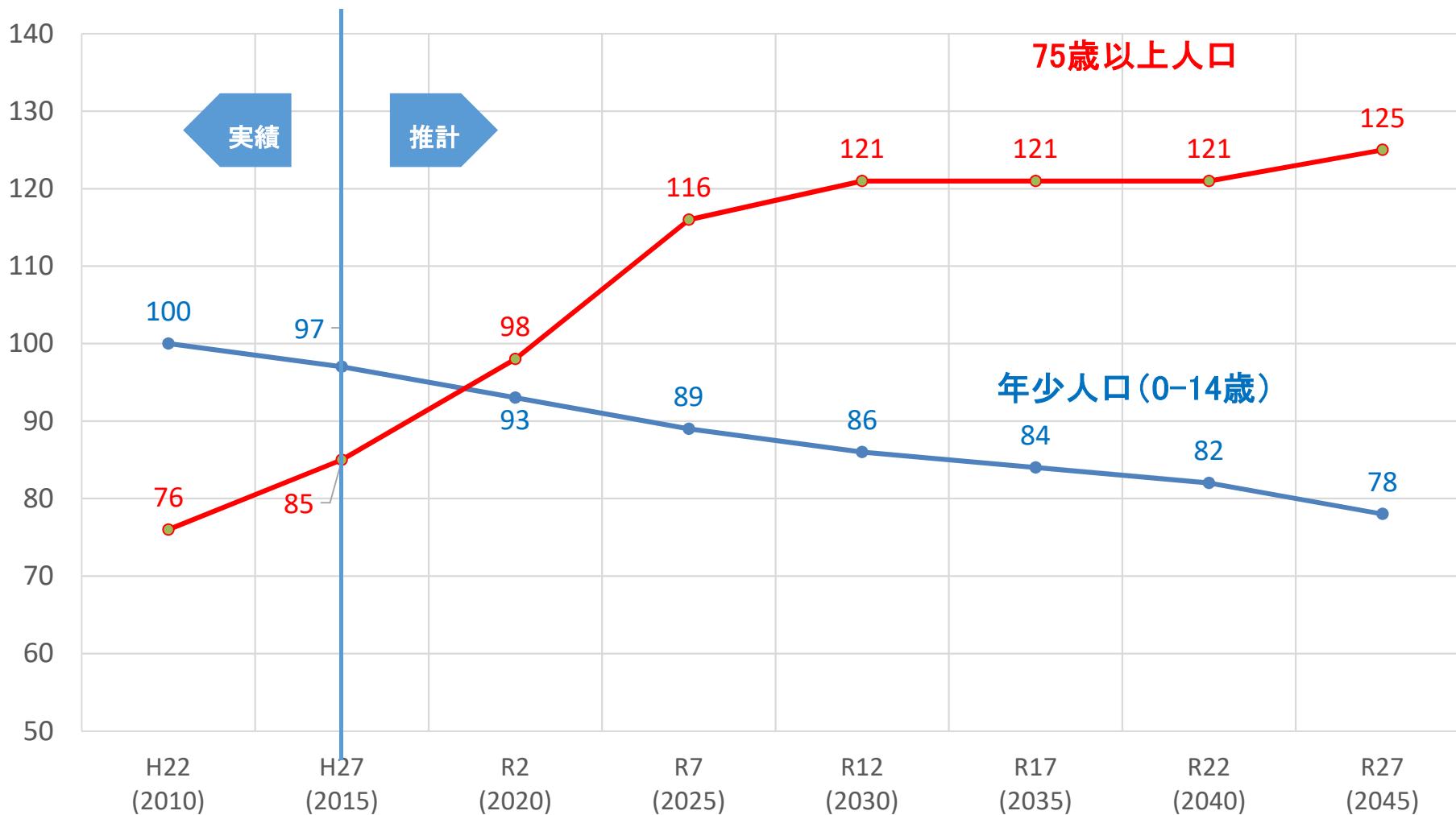


(資料)岡山県毎月流動人口調査結果から作成

年少人口・75歳以上人口の見通し

- 年少人口(0-14歳男女)は減少していく一方、75歳以上の人口は当面増加を続けていく。
- 平成27年以降、自然減は加速度的に進展しており、今後もその傾向が続く見通しである。

(千人)

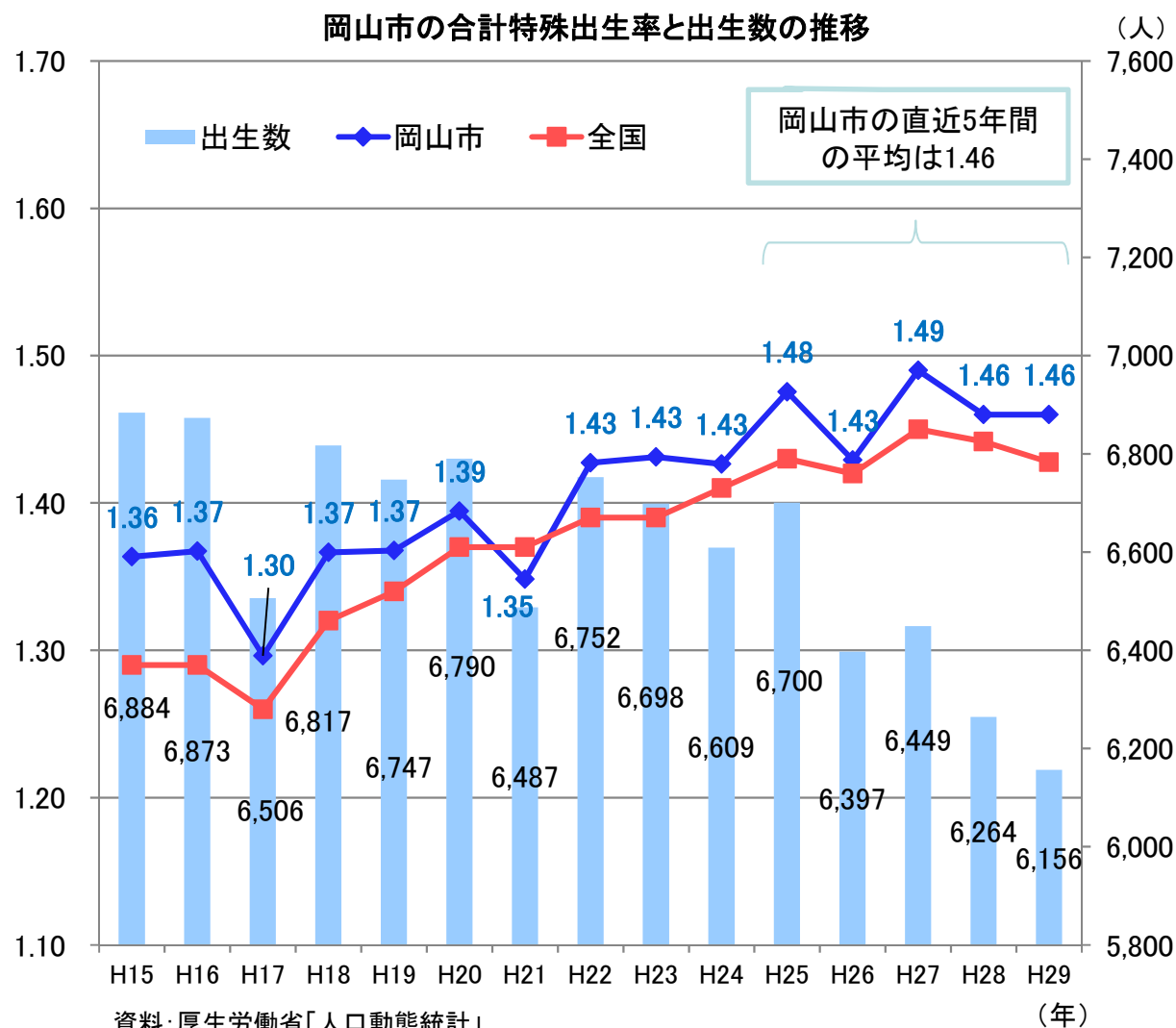


(注)人口等は現在市域。人口総数には年齢「不詳」を含む。ただし、人口比率は年齢「不詳」を除いて算出。
 (資料)総務省「国勢調査」(実績値)、岡山市推計結果(推計値)

(平成29年2月作成)

合計特殊出生率と出生数の推移

- 合計特殊出生率は全国平均より高く、平成22年以降は概ね横ばいで推移しているが、出生数は減少傾向にある。



指定都市の合計特殊出生率 上位6位

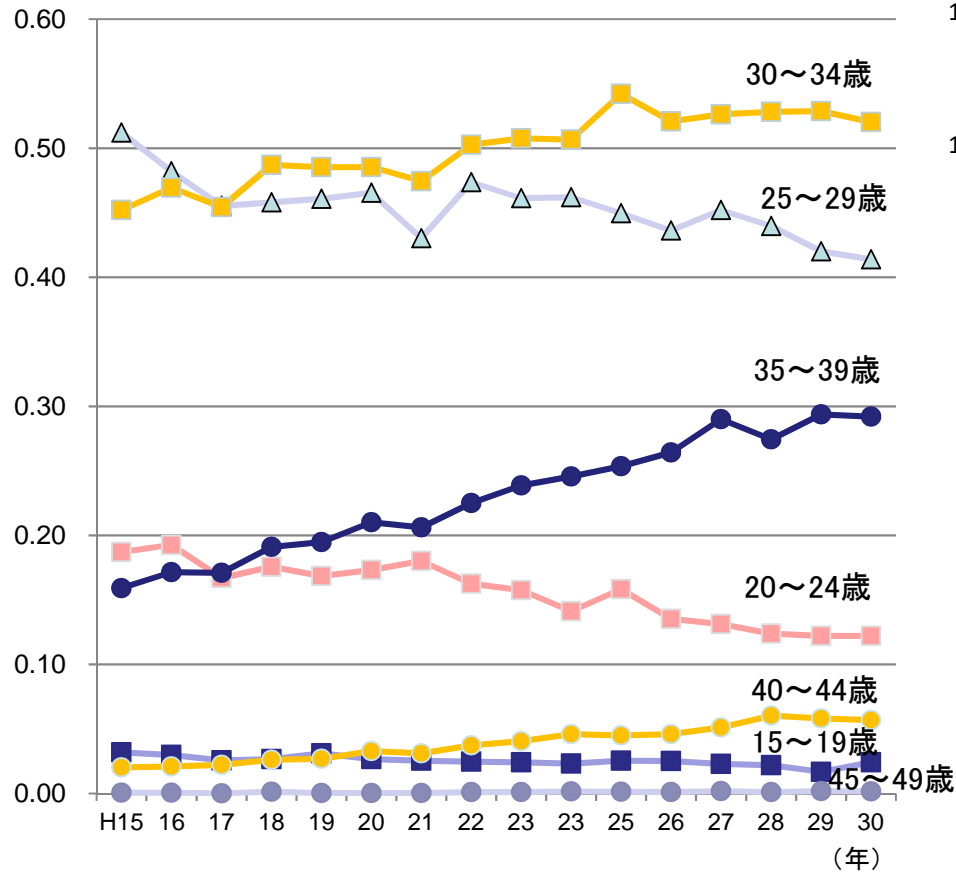
順位	指定都市	値
1	浜松市	1.61
2	北九州市	1.59
3	熊本市	1.56
4	堺市	1.54
5	広島市	1.52
6	岡山市	1.49
指定都市平均		1.41

資料: 厚生労働省「平成27年人口動態統計」

母の年齢別出生率・20～39歳女性人口の推移

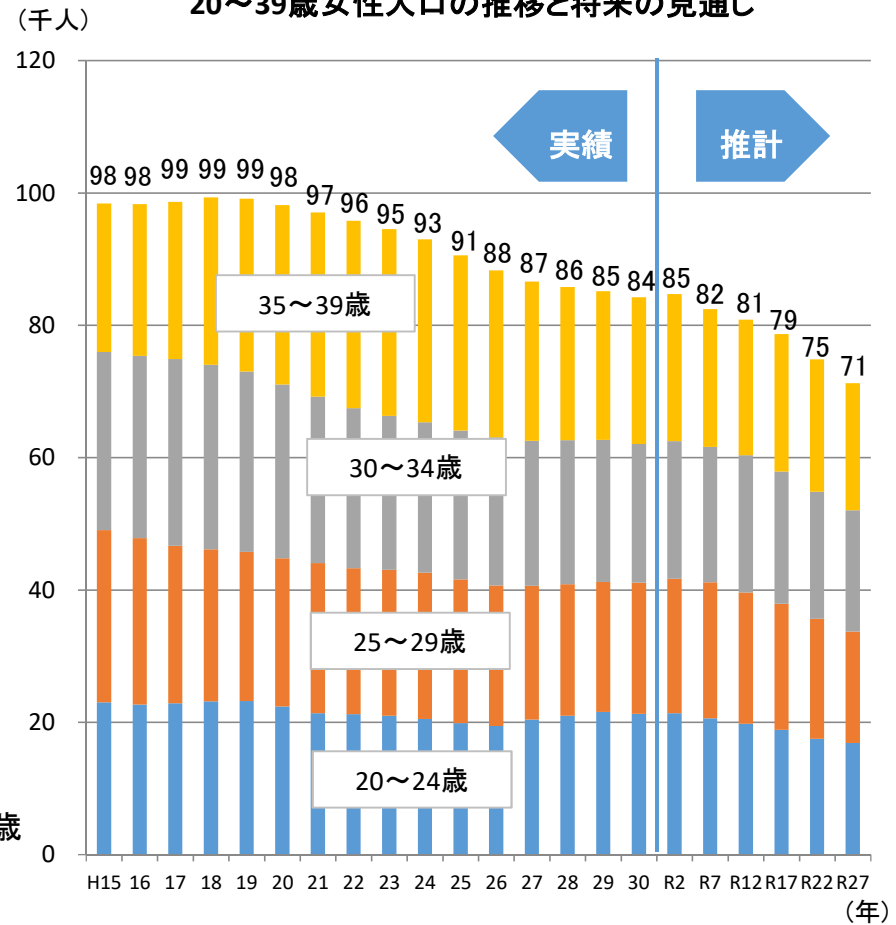
- 母の年齢別出生率は20～39歳が大半を占めているが、今後さらに減少していく見通し。

母の年齢別出生率



資料：厚生労働省「人口動態統計」
岡山県「岡山県毎月人口流動調査」

20～39歳女性人口の推移と将来の見通し

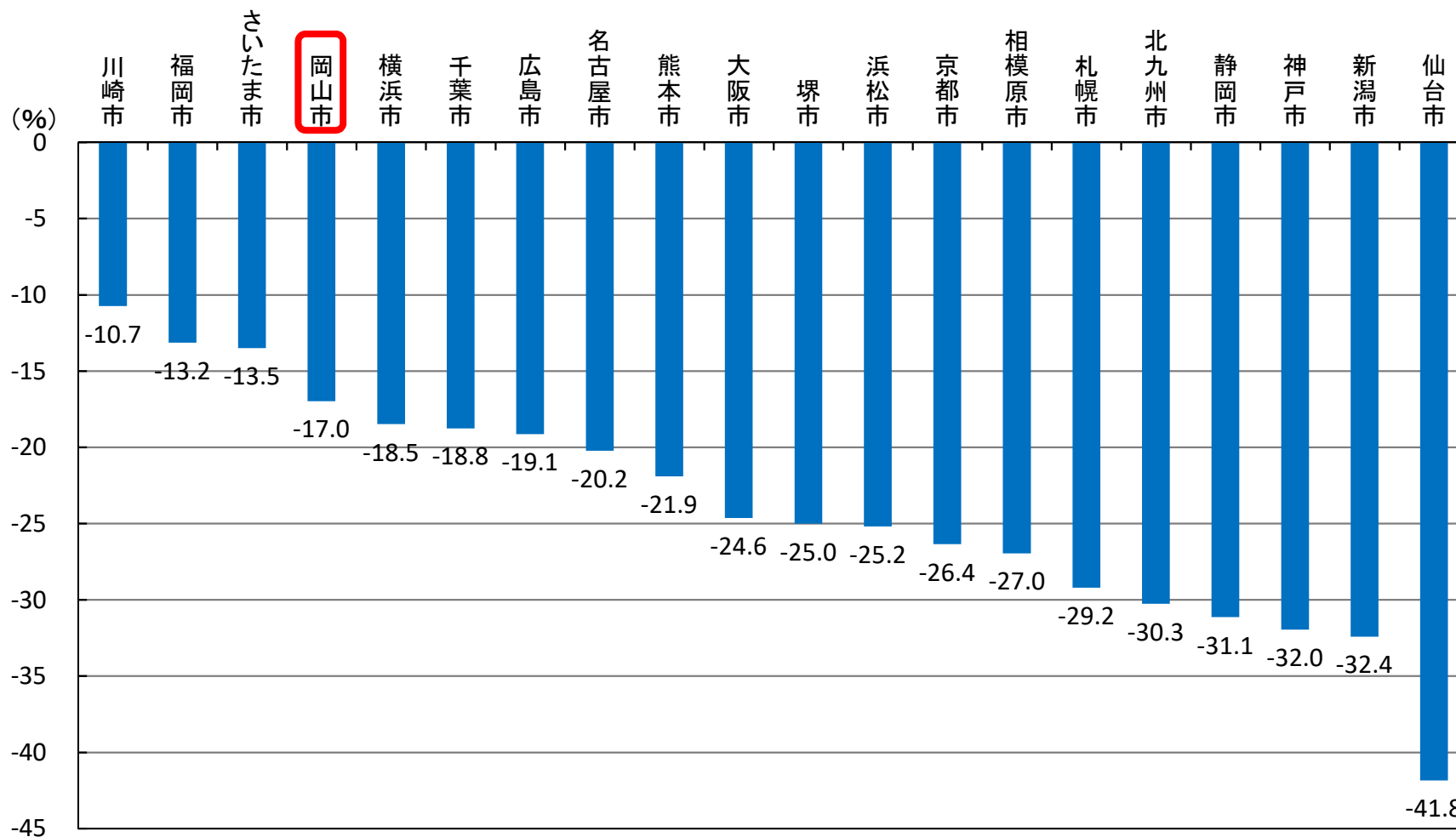


実績：(資料)岡山県「岡山県毎月人口流動調査」 ※1年間隔
推計：(資料)岡山市推計結果(推計値) 平成29年2月作成 ※5年間隔

指定都市別 20～39歳女性人口の減少率

- 20～39歳女性人口は減少していくものの、2015年(H27年)と2045年(R27)を比較した減少率は-17.0であり、指定都市の中では4番目に低い見通しとなっている。

2015年(H27年)と2045年(R27年)を比較した20～39歳女性人口の減少率

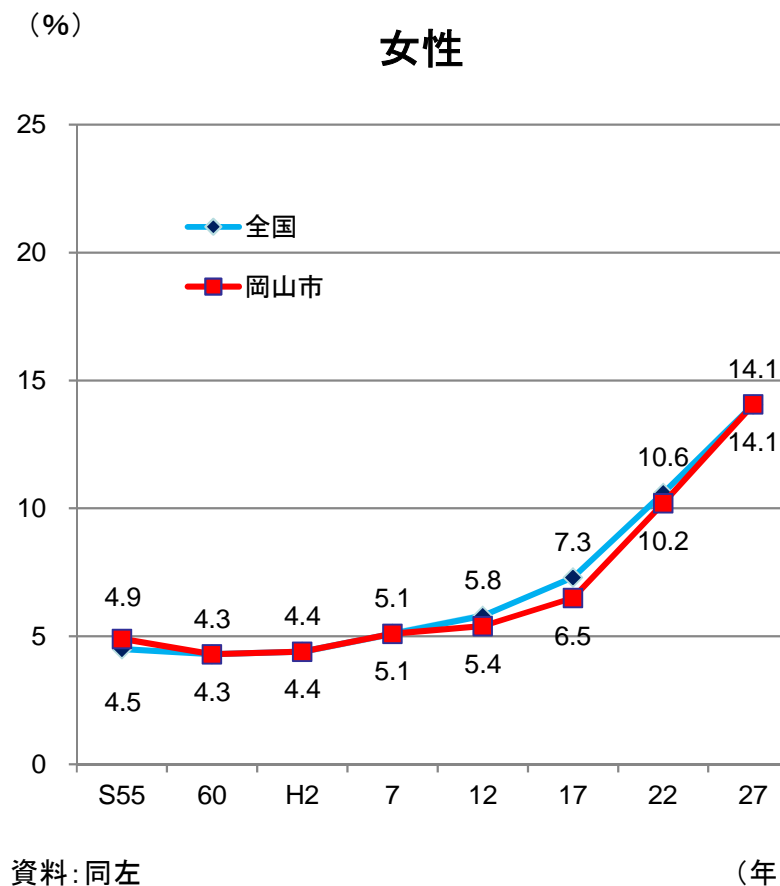
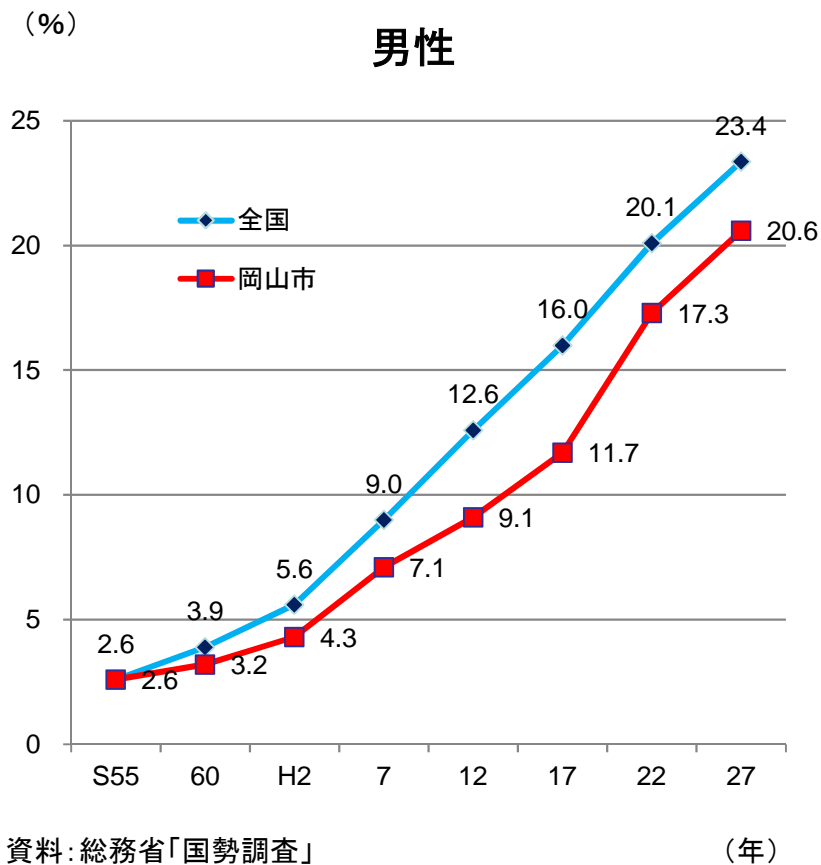


資料: 社人研「日本の地域別将来推計人口(H30年3月推計)」

(参考) 東京23区の減少率は-11.0%

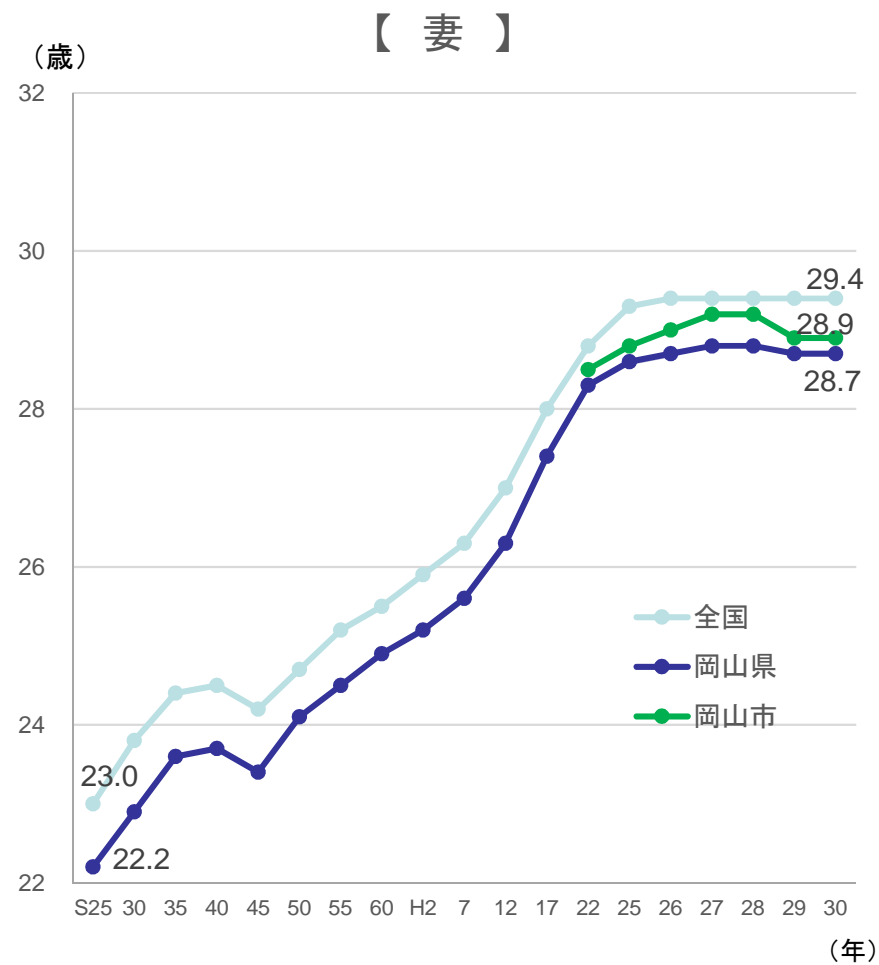
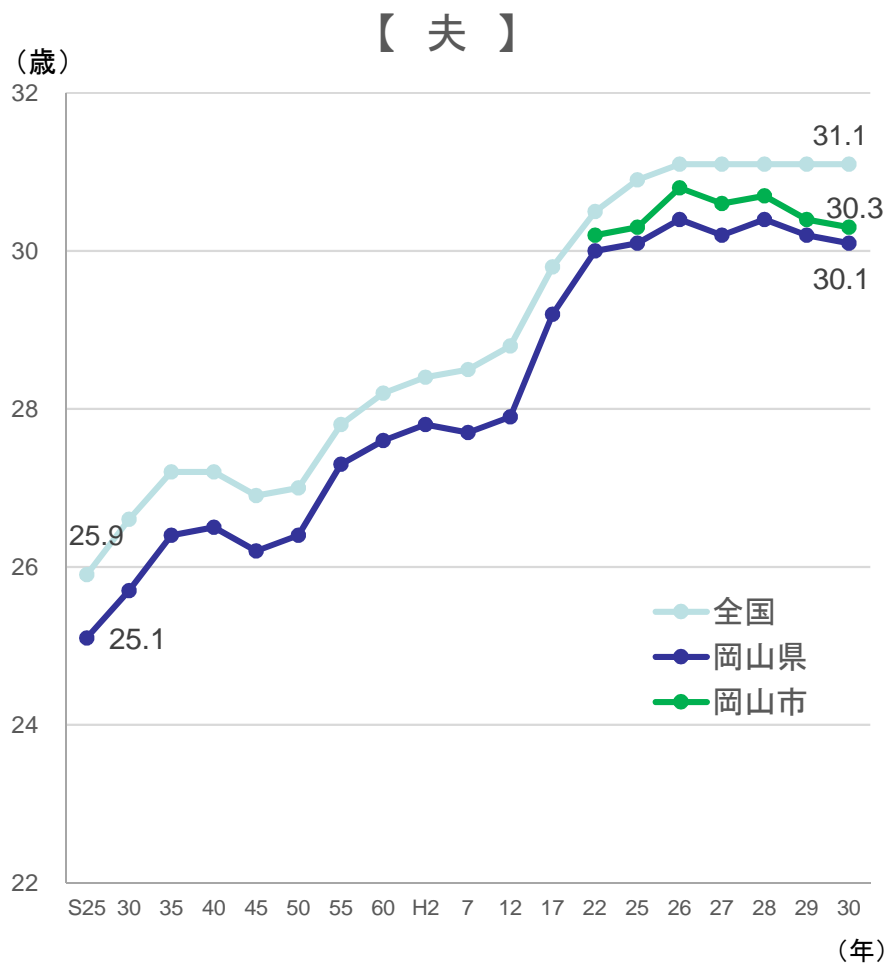
50歳時未婚率の推移

- 50歳までに一度も結婚したことがない割合である50歳時未婚率について、昭和55年と平成27年(35年間)を比較すると、男性は大幅に増加(約38人に1人⇒約5人に1人)し、女性も増加(約22人に1人→約7人に1人)しており、未婚化が進んでいる。



平均初婚年齢の推移

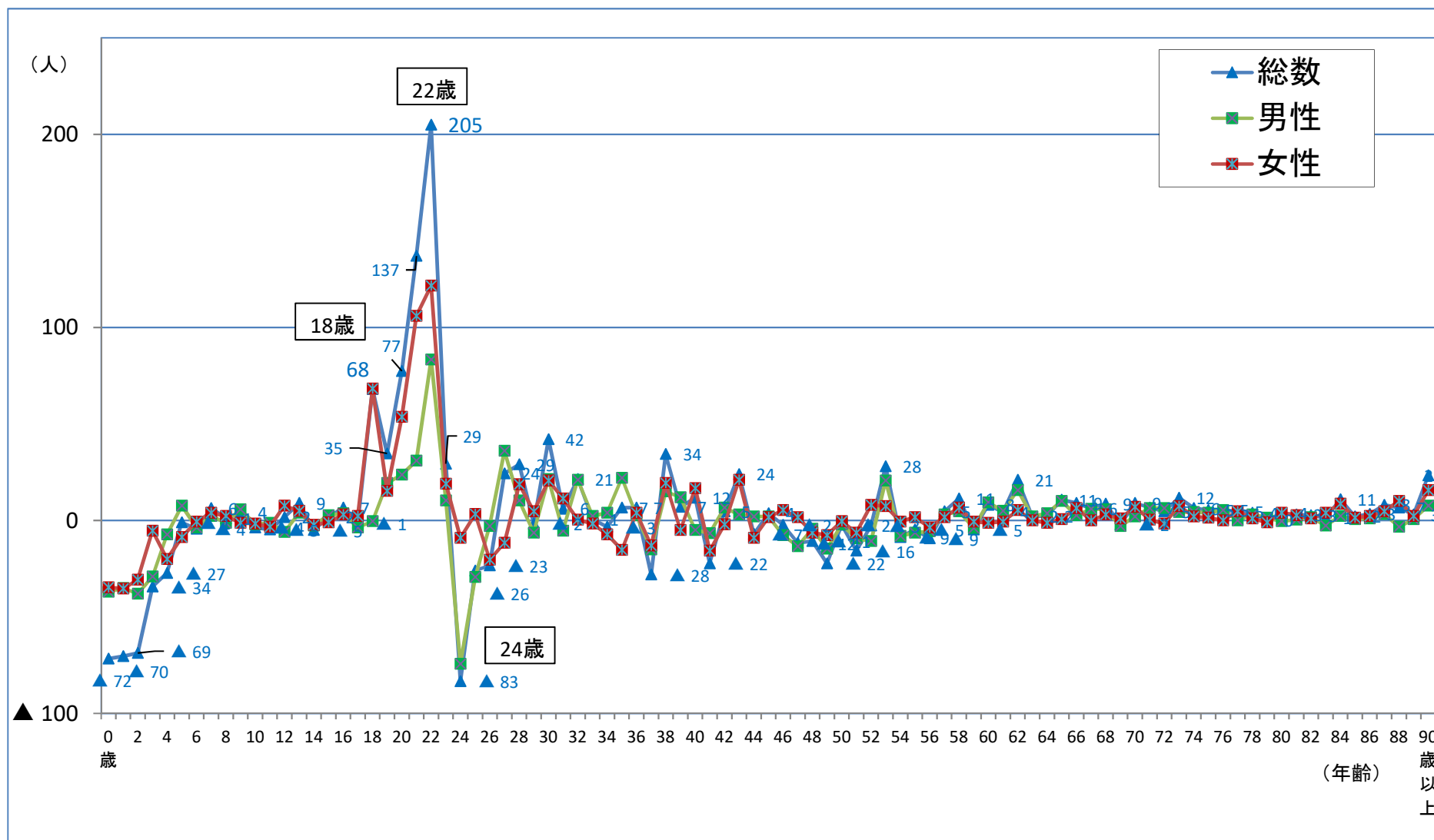
- 平均初婚年齢は男性・女性ともに上昇しており、未婚化とともに晩婚化も進んでいる。



資料:厚生労働省「人口動態統計」

年齢別社会動態の状況（日本人H27-H29の平均）

- 大学進学から卒業、就職期の18～22歳が転入超過となっている一方、大学・大学院の卒業、就職期に当たる24歳は転出超過となっている。



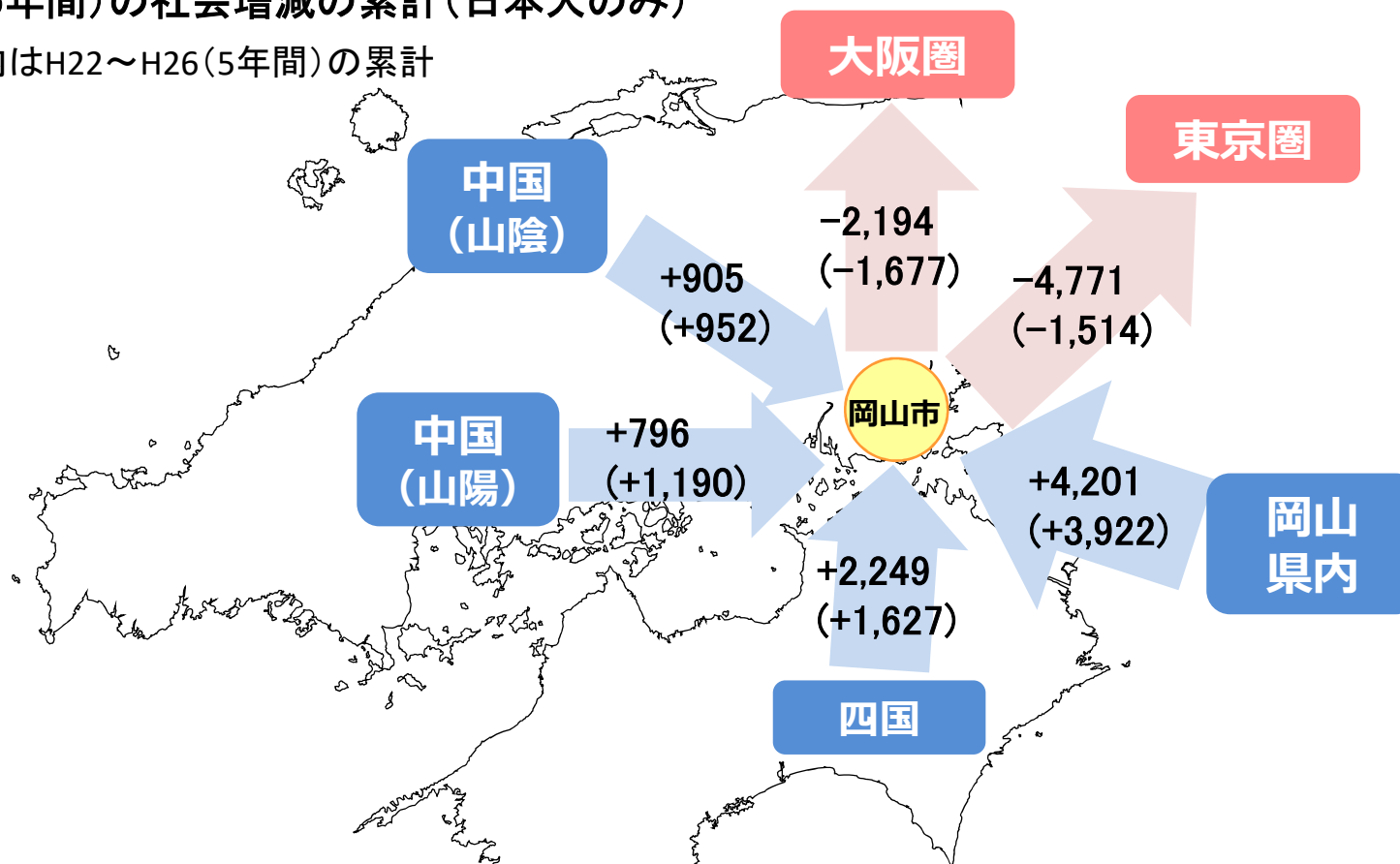
(資料)総務省住民基本台帳移動報告(年報)

圏域別社会動態の状況(H27~R1累計)

- 岡山県内、中国・四国地方は転入超過である一方、東京圏、大阪圏へは転出超過となっている。
- 特に、東京圏への一極集中が加速している。

H27~R1(5年間)の社会増減の累計(日本人のみ)

※()内はH22~H26(5年間)の累計



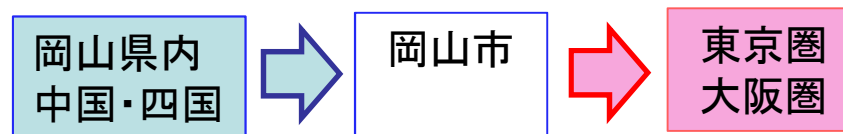
注:データは前年10月~同年9月、日本人のみ

東京圏…埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

大阪圏…大阪府、兵庫県、京都府、奈良県

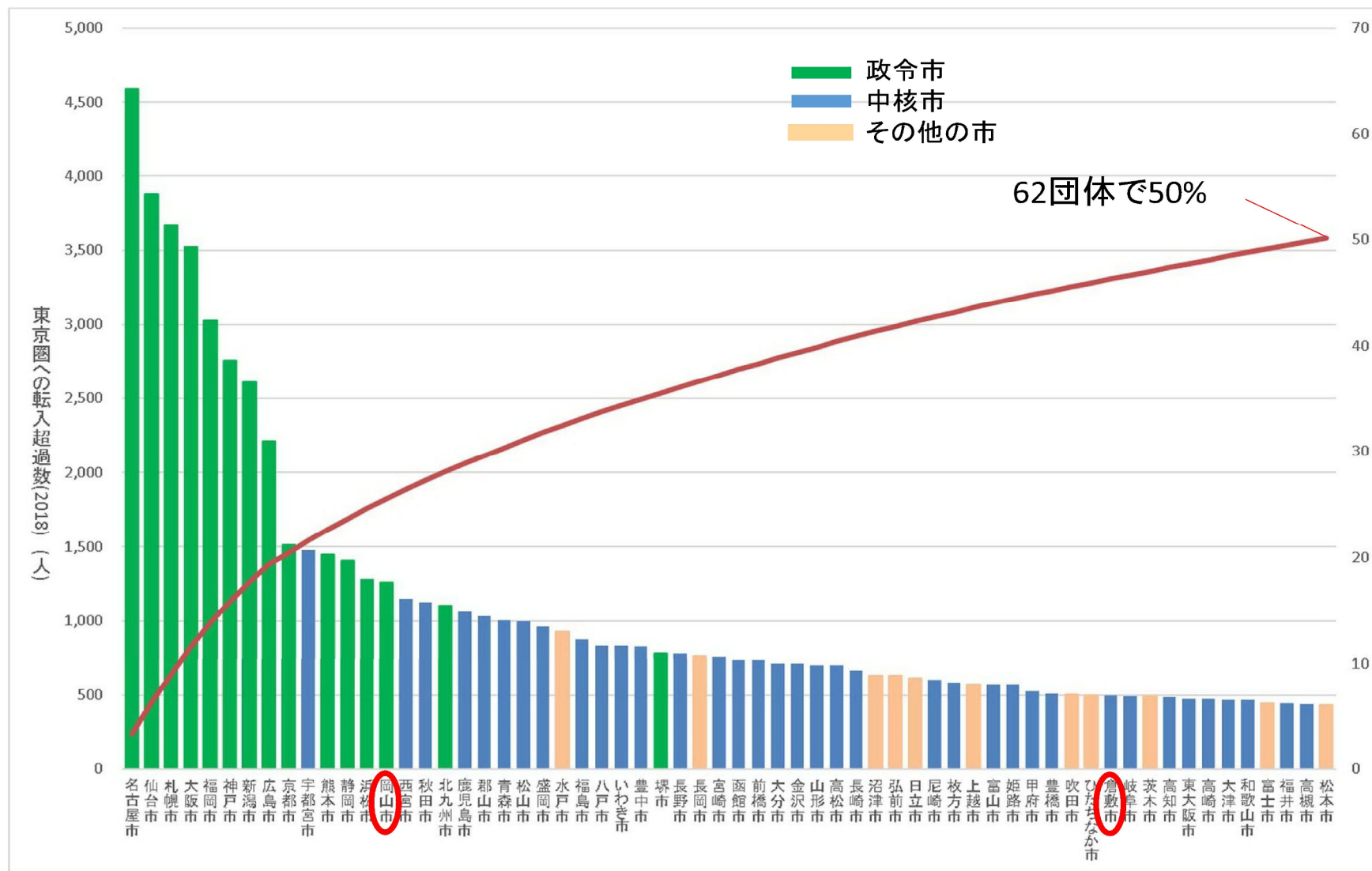
中国(山陰)…鳥取県、島根県 中国(山陽)…広島県、山口県

資料:岡山県「岡山県の人口の動きー岡山県毎月流動人口調査結果から」



東京圏への転入超過者数 市町村別内訳と累積割合

- 平成30年の東京圏への転入超過者数では、以下の62団体で全体の50%を占めており、上位は都市規模の大きい指定都市で、岡山市は全体で14番目に多い。

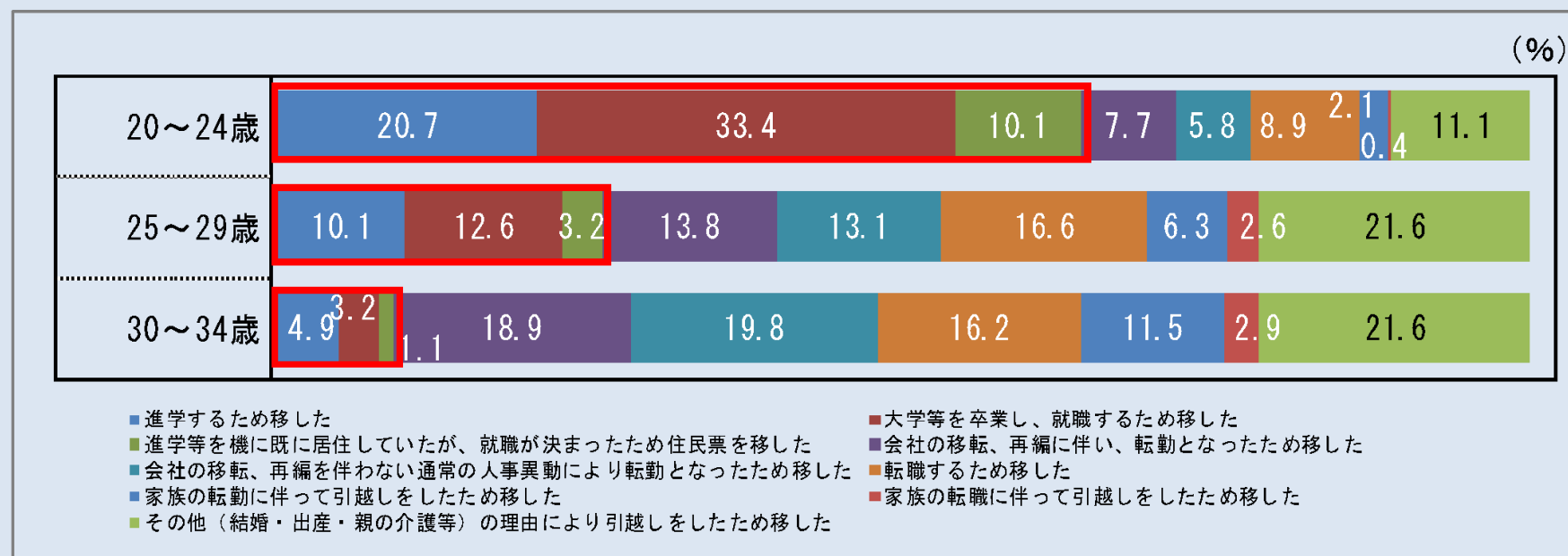


資料:住民基本台帳の人口移動のデータ(日本人移動者)に基づき、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局において作成。

平成30年(2018年)上位62団体

- 20～24歳の移動理由は、進学・就職を理由にした割合が全体の6割を超えている。

図 15 地方圏から東京圏への移動理由

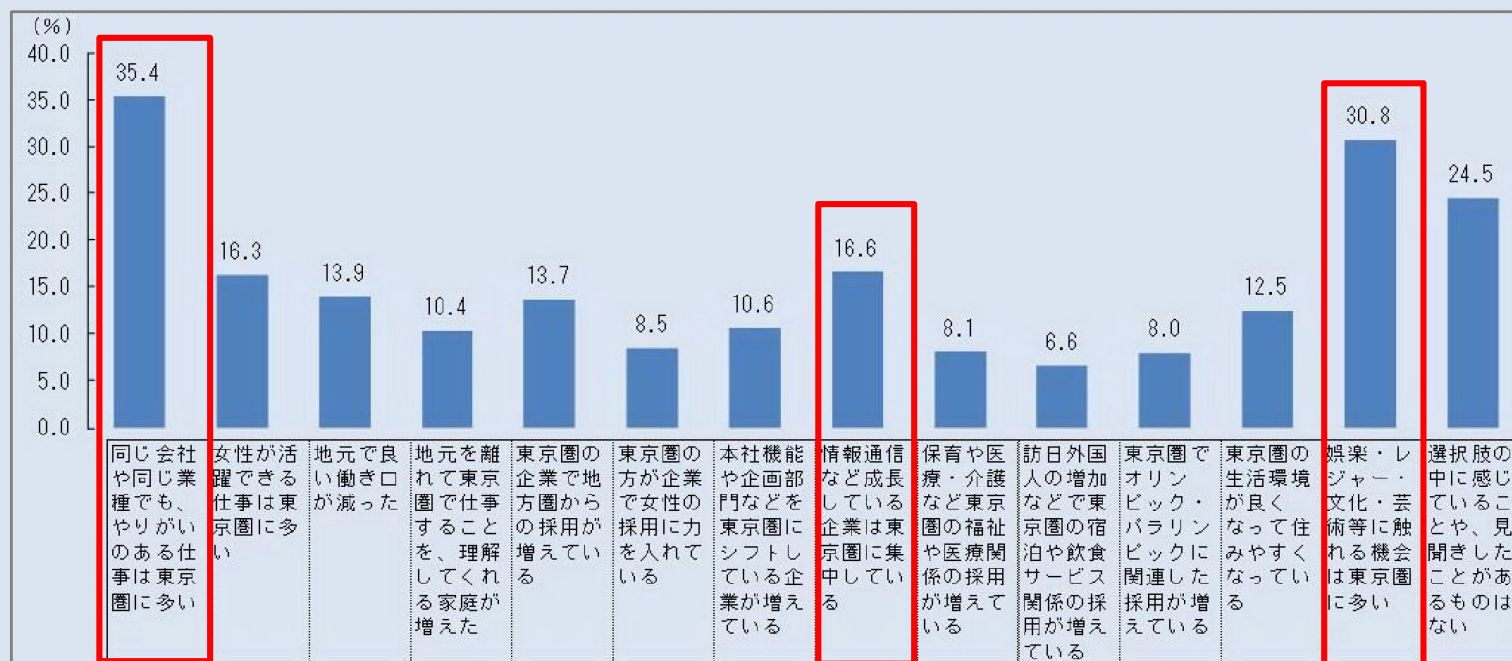


(出典) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「若年層における東京圏・地方圏移動に関する意識調査」
(2019年4～5月)

(出典) 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和元年12月20日)

- 「同じ会社や同じ業種でもやりがいのある仕事は東京圏に多い」、「情報通信など成長している企業は東京圏に集中している」など、若者は仕事に関し東京圏に対して良いイメージを抱いている。
- 仕事以外にも、「娯楽・レジャー・文化・芸術等に触れる機会は東京圏に多い」、「東京圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている」など、若者は生活環境に関しても東京圏に対して良いイメージを抱いている。

図 16 東京圏について感じていることや見聞きしたことがあること (複数回答)
(地方圏から東京圏への移動者、20~34 歳)

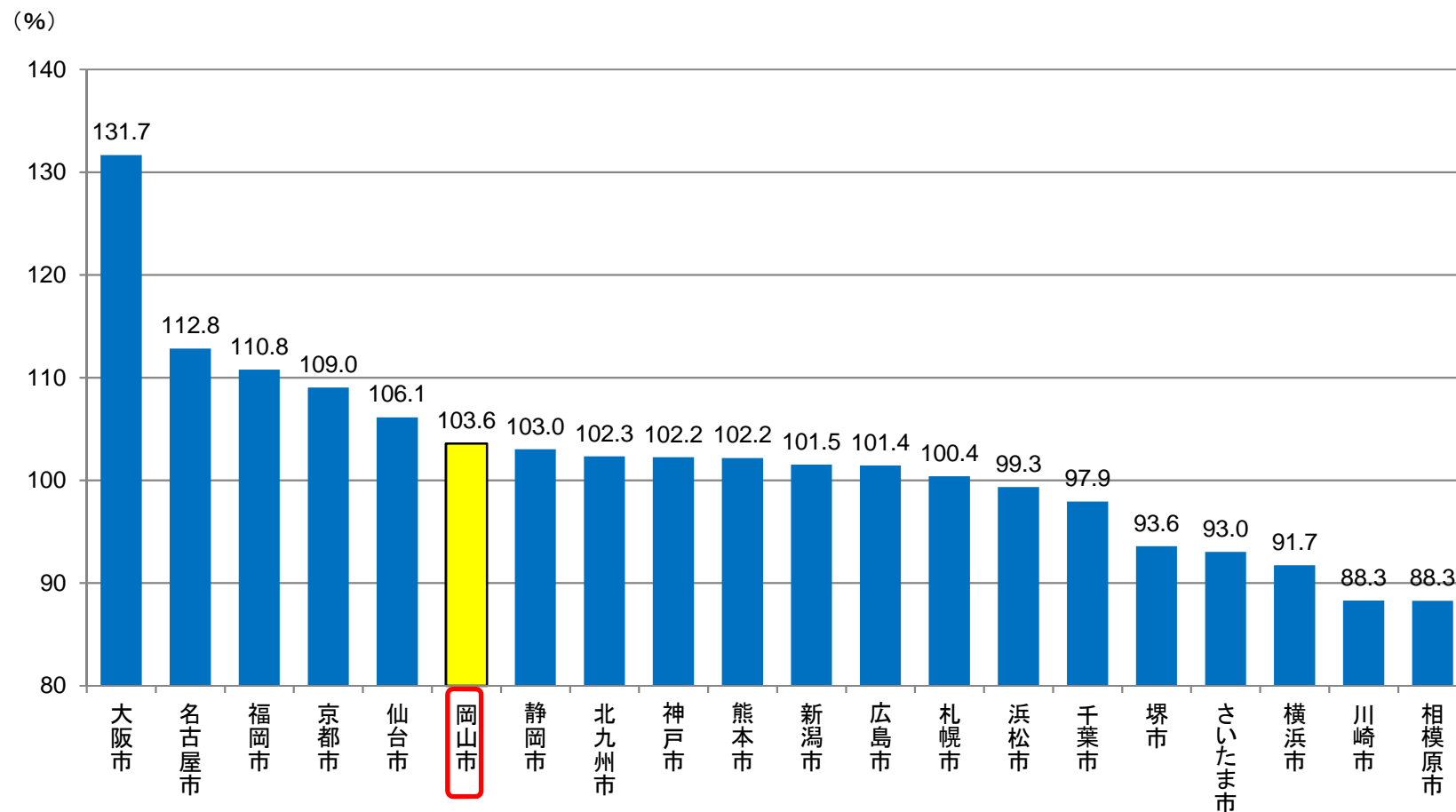


(出典) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「若年層における東京圏・地方圏移動に関する意識調査」
(2019年4~5月)

(出典) 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和元年12月20日)

指定都市別 昼夜間人口比率

- 岡山市の昼夜間人口比率は103.6であり、昼間人口が夜間人口を上回る「流入超過」となっており、圏域における中心拠点としての機能を果たしている。



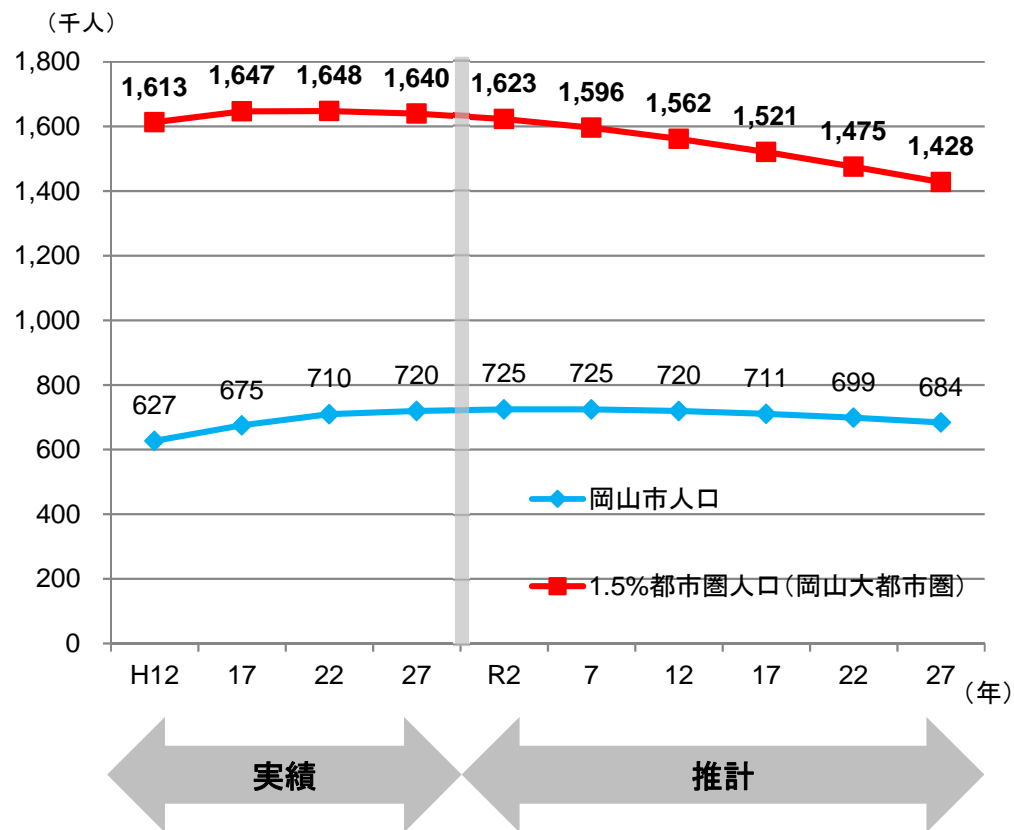
- ・昼間人口……従業地・通学地による人口
- ・夜間人口……常住地による人口
- ・昼夜間人口比率……夜間人口100人当たりの昼間人口
- ・流入超過……昼間人口が夜間人口を上回っている状態
- ・流出超過……夜間人口が昼間人口を上回っている状態

資料：総務省「国勢調査(H27)」

- 常住人口に対する「岡山市への通勤・通学者数」の割合が1.5%以上ある自治体が16市町あり、約6万7千人が通勤・通学で岡山市に流入している。

市町村	常住人口	岡山市への通勤・通学者数	岡山市への通勤・通学者の割合(%)
1 赤磐市	43,214	8,679	20.1
2 瀬戸内市	36,975	6,522	17.6
3 早島町	12,154	2,047	16.8
4 玉野市	60,736	6,694	11.0
5 和気町	14,412	1,514	10.5
6 総社市	66,855	5,745	8.6
7 備前市	35,179	2,950	8.4
8 久米南町	4,907	400	8.2
9 吉備中央町	11,950	768	6.4
10 倉敷市	477,118	28,265	5.9
11 浅口市	34,235	1,270	3.7
12 里庄町	10,929	393	3.6
13 矢掛町	14,201	401	2.8
14 美咲町	14,432	326	2.3
15 笠岡市	50,568	939	1.9
16 高梁市	32,075	560	1.7

資料：総務省「国勢調査(H27)」



資料：【実績】総務省「国勢調査」、
【推計】社人研「日本の地域別将来推計人口(2018年3月推計)」

(参考)総務省「国勢調査(H27)」の定義

- ・「大都市圏」は、広域的な都市地域を規定するため行政区画を越えて設定した統計上の地域区分。「中心市」及び「周辺市町村」によって構成される。
- ・「中心市」は、東京都特別区部及び政令指定都市。
- ・「周辺市町村」は大都市圏の「中心市」への15歳以上通勤・通学者数の割合が該当市町村常住人口の1.5%以上あり、かつ、中心市と接続している市町村とする。ただし、中心市への15歳以上通勤・通学者数の割合が1.5%未満の市町村であっても、その周囲が「周辺市町村」の基準に適合した市町村によって囲まれている場合は「周辺市町村」とする。

人口動態と将来の見通し

- ① 平成30年11月をピークに人口減少局面
- ② 自然減が加速度的に進展
- ③ 東京圏への一極集中が加速

自然動態のポイント

- ① 年少人口(0-14歳)・生産年齢人口(15-64歳)は減少
- ② 高齢者人口(65歳以上)は当面増加の見通し
- ③ 20-39歳女性人口の減少は続くが、指定都市では減少率が4番目に低い見通し
- ④ 50歳時未婚率は全国平均より低いものの、大幅に上昇
- ⑤ 平均初婚年齢の上昇

社会動態のポイント

- ① 岡山市全体では社会増を維持
- ② 日本人は社会減に(H30、R1)
- ③ 外国人は増加が続いている
- ④ 岡山県内、中国、四国から流入し、東京圏・大阪圏へ流出
- ⑤ 20代を中心とした若者が進学・就職を機に東京圏へ移動
- ⑥ 岡山市周辺の10市町からは、約6万3千人が通勤・通学で流入

《協議テーマ(案)》

第1回(2/14)

- 1 子育て支援
 - (1) 幼児教育・保育の充実
 - (2) 放課後児童クラブの充実
 - (3) 子どもの貧困対策

2 コンパクトでネットワーク化されたまちづくり

第2・3回(4月末・5月末)

- 3 産業振興
- 4 健康・福祉
- 5 防災対策
- 6 中心部・周辺地域
- 7 行財政運営 等

第4回(8月頃)

後期中期計画(素案)